

210622 各地の同期した1本立ちについて

懸案の関西、四国各地の長期、大型データの減衰とともに いくつかの観測点に昨日 6月21日に同期した1本立ちが見られます。データが特に大きいものは 神戸市灘区と東大阪ですが、他にも 福井、富山、伊勢の2か所、八王子などにも同期が見られます。

しかしこれらの広範囲の1本立ちのデータは形が一定でなく、また昨日は雷雲の影響もなかったと思えることから、地震の前兆現象の1つとして大地震に関連する可能性があります。

また懸案の関西、四国の大型データでは 高知市介良で長い収束が進んでおり、新たに変わった広島に収束傾向がみられます。明後日 6月24日が月齢14で満月にかかり、25日は各地で大潮になります。5月17日の第一回の臨時メールからすでに1か月が過ぎていますがまだ何も発震もなく、ここまでひっばってきてしまったことをお詫びします。

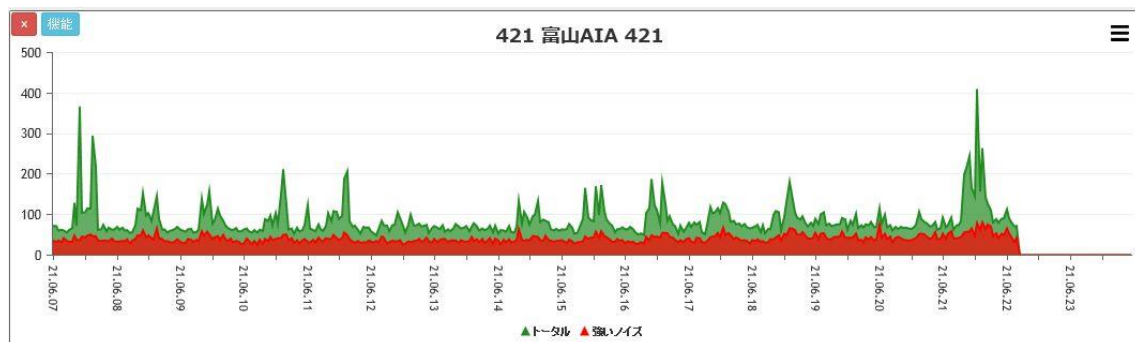
しかしながら まだ安心できるようなデータになってきていないことから もうしばらくの警戒をお願いします。

<各地の1本立ちの状況>

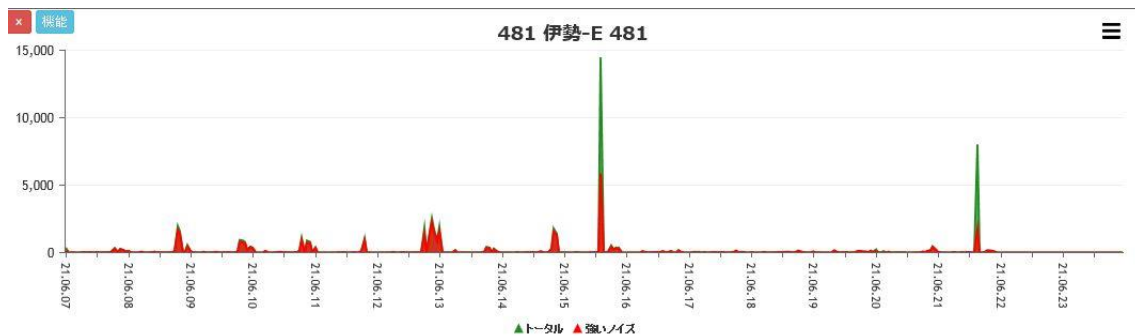
福井 15日間データ



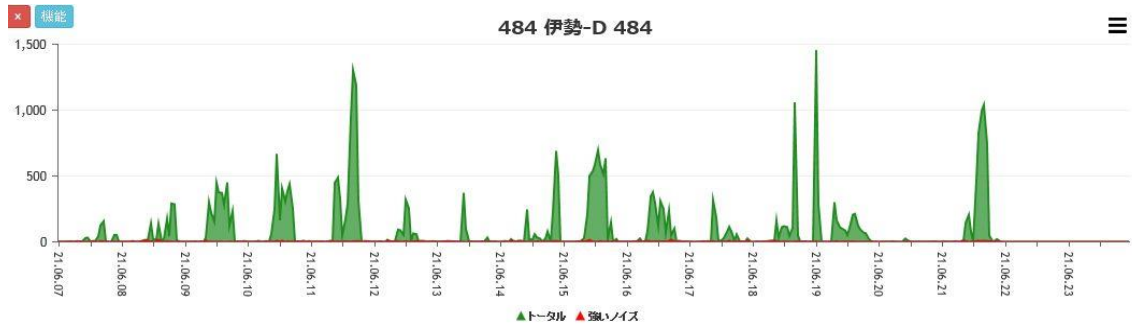
富山 15日間データ



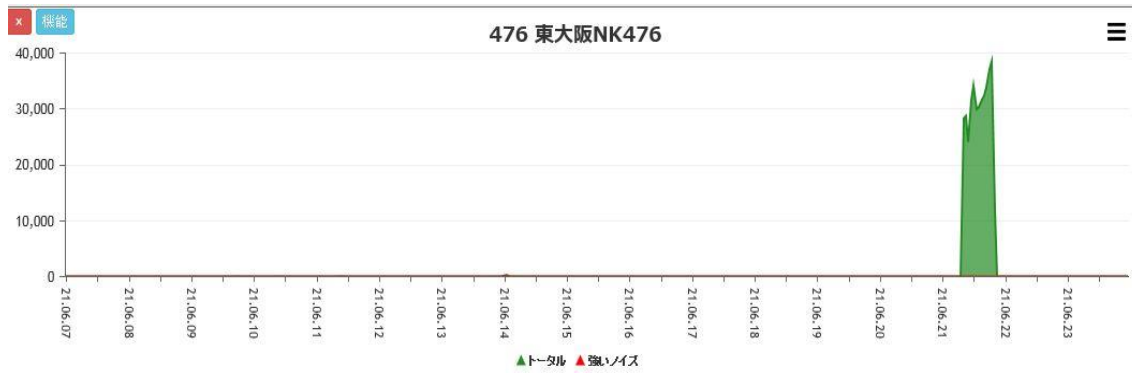
伊勢E 481 15日間データ



伊勢D484 15日間データ



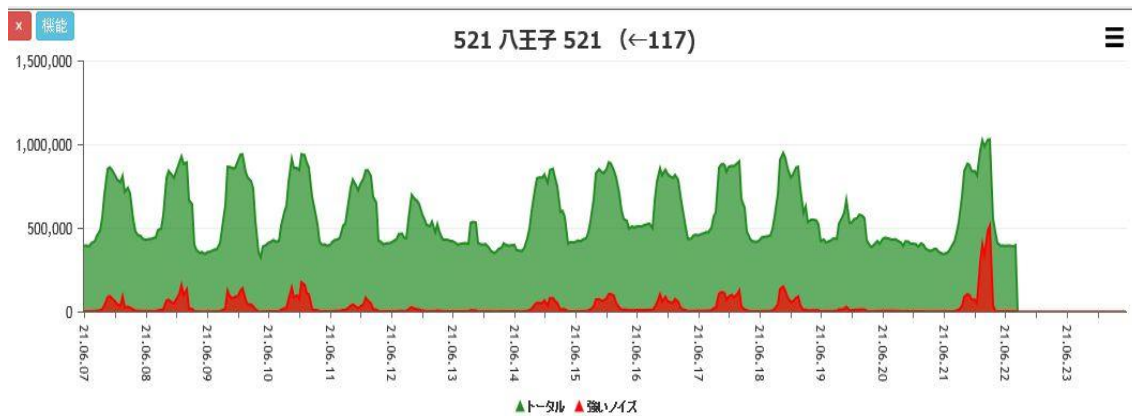
東大阪 15日間データ



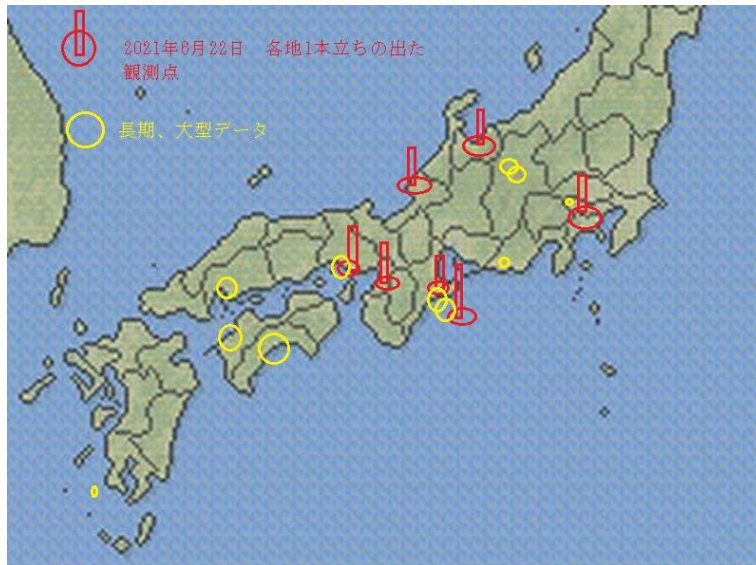
神戸市灘区 15日間データ



八王子 15日間データ

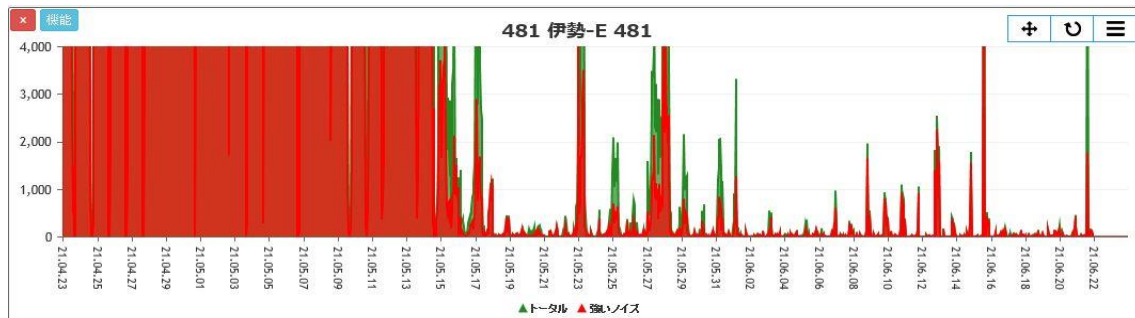


1 本立ちの出た観測点の位置関係

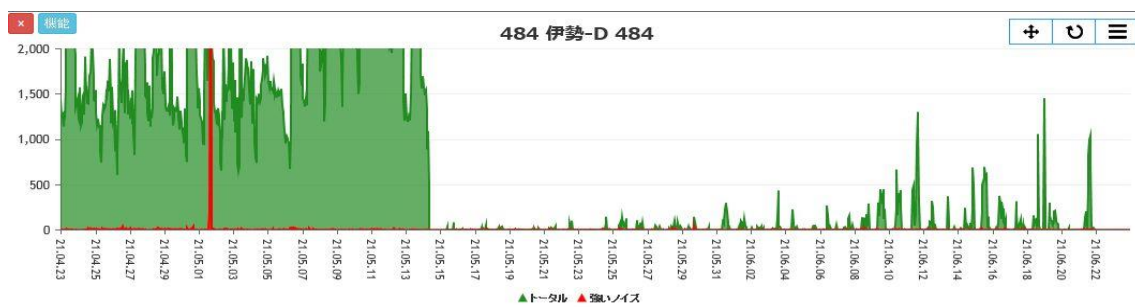


<各地の収束状況>

伊勢E481 60日間データ



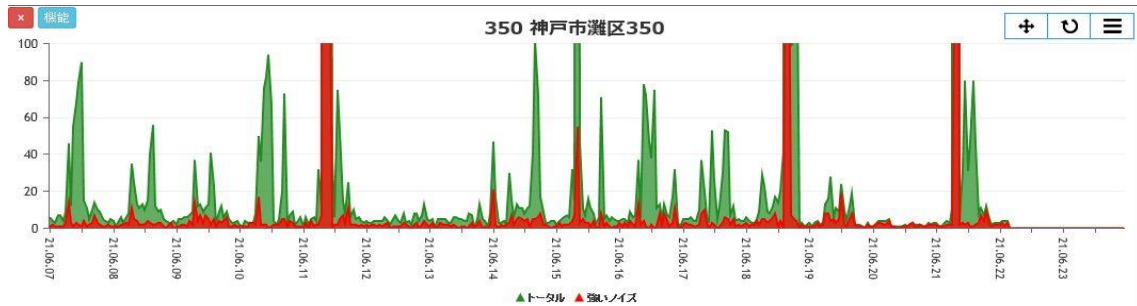
伊勢D484 60日間データ



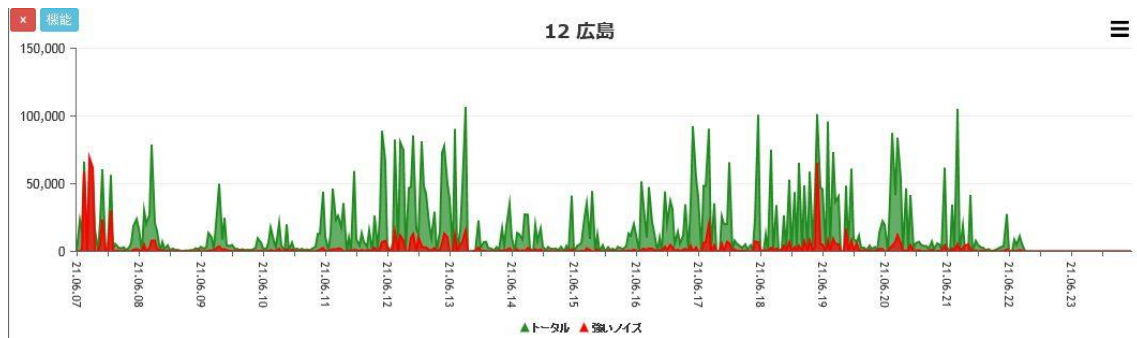
神戸市灘区 60日間データ



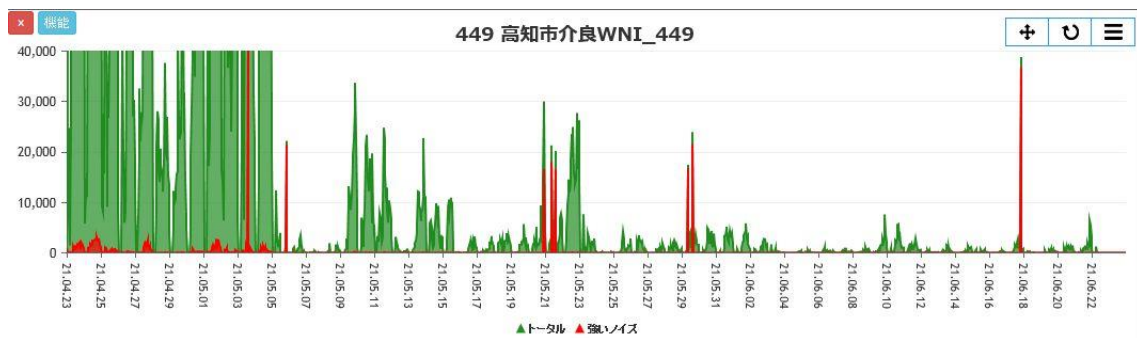
神戸市灘区 15日間データ



広島 15日間データ



高知市介良 60日間データ



高知市介良 15日間データ

